



---

# デコ活応援団（新国民運動・官民連携協議会） 第9回会合

---

令和5年10月20日（金）



脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動

10月20日（金）10時00分～ オンライン

- ① これまでの動き（報告・依頼）
  1. デコ活関連
  2. 事業提案
  3. 国際関連
- ② 会員からのプロジェクト提案、意見、要望等
- ③ 暮らしの10年ロードマップ<sup>o</sup>（対策の方向性）
- ④ 次回情報

## 質疑応答、意見交換時の留意事項

- 多くの方に発言いただけるよう、発言は簡潔明瞭に1～2分程度でお願いします。
- 発言を希望される方は、Zoom上で挙手又はQ&Aへの送信をお願いします。
- 直前の発言に関連した質問等がありましたら、Q&Aに「関連」と送信してください。

# デコ活宣言、「#デコ活」の取組状況の報告と追加募集

- 多くの企業、団体等からデコ活宣言をいただいています。
- 「#デコ活」でのSNS発信にも多くの協力いただいています。

デコ活公式SNSアカウントでも皆様の発信をリポストしていますので、さらなる発信をお願いします！

○すでに769の企業・自治体・団体・個人の皆様に「デコ活宣言」をいただいています。  
(令和5年10月18日時点)

○SNS上で発信された「#デコ活」をリポストしています。皆様の公式アカウント等から積極的に発信ください！  
(10月18日時点で計83件リポスト)

企業 : 230  
 自治体 : 184  
 各種団体 : 72  
 個人 : 283

※前回会合時から**2倍以上**に増加

○応援団の皆様からも多くの宣言をいただいています。  
 ○まだ宣言されていない皆様は、ぜひ宣言をお願いします。

## 「#デコ活」投稿のリポスト例



🔄 デコ活/環境省さんがリポストしました

# デコ活の普及拡大に向けて

- 各種メディアにおいて積極的に「デコ活」を押し出しています。  
皆様にもデコ活の普及拡大に向け、積極的な発信をお願いします！



月刊経団連 10月号

デコ活の広告を掲載



10/1放送  
政府広報ラジオ  
(エフエム東京)

広報テーマ【脱炭素につな  
がる新しい豊かな暮らしを  
創る国民運動】  
番組テーマ【暮らしの中のエ  
コロがけ デコ活】



今月のキーワード  
『デコ活』  
～「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る  
国民運動」の愛称決定！～

脱炭素  
2023.08.02

8/2公開 ecojin

環境のことを考える人が一人でも  
多くなることを目指す、環境省発  
信のエコ・マガジン  
キーワード【デコ活】

<https://www.env.go.jp/guide/info/ecojin/eye/20230802.html>

# デコ活のリーフレット・チラシ等ダウンロードツールの展開

- 「デコ活アクション」や「10年後の絵姿」などを紹介するリーフレット、チラシ、パネル等のダウンロードツールをデコ活Webサイトにて公開していますので、積極的に活用ください！

## 皆様の事業活動を後押しする「デコ活」紹介ツールの展開

\*いずれもPDFファイルです。\*各種ツールの利用にはデコ活宣言が必要です。

### ○リーフレット「デコ活」のすすめ

両面見開き1枚でデコ活のいろはを伝えることができます。



### ○チラシ

両面1枚で13のデコ活アクションを紹介できます（10年後の絵姿紹介ver.もあります）。



### ○パネル・ポスター

場面に応じて計3パターン（1枚組、3枚組等）から選んで利用できます。



※ツールダウンロードについては、<https://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/join.html>から確認を。

# 「デコ活」推進事業（新たな補助金）に関する事業提案の状況報告、2次募集

- 前回会合以降、多くの新規事業を提案をいただきました。
- 新規事業の提案について2次募集を実施します！

## これまでにいただいた事業提案

○前回募集では、53者から計55件の提案をいただきました。  
ありがとうございました！

## いただいた事業提案の内訳

カテゴリ	件数	カテゴリ	件数
意識啓発	20件	廃棄物	4件
インセンティブ	10件	GHG見える化	3件
住宅	6件	サステナブルファッション	3件
モビリティ	4件	ワーケーション	1件
教育	4件		

## 今後の進め方

- いただいた事業提案は、事務局及び環境省で確認し、具体化に向けた意見交換を始めています。
- 事務局より意見交換を依頼させていただいた際には、ご協力をお願いします。

## 2次募集（提案・相談受付）

○2次募集として新規提案を  
11月30日(木)まで受け付けます。

○提案内容等のご相談もお気軽に事務局又は環境省へお問い合わせください。

# G7プラットフォーム/オンラインワークショップ/COP28サイドイベント

- G7プラットフォームがいよいよ、11月13日(月)13時に公開予定です。ぜひご覧ください。
- オンラインワークショップが11月16日(木)に開催されます。Zoom事前登録の上、ぜひご参加ください。

## Webサイト上での発信

G7プラットフォーム	
名称	G 7 Platform for Net-Zero and Well-Being in Life
目的	消費者の行動変容の促進等の需要対策に関するG7の政策・良好事例について、Webにより情報共有・発信する。
スケジュール	<p>8月25日(金)のご応募ありがとうございました。</p> <p>応募いただいた内容について、相談・調整させていただく場合がございます。事務局より個別に連絡しますので、ご対応よろしく申し上げます。</p> <p><b>本プラットフォームは11月13日(月)13時の公開を予定しています。</b></p> <p>現時点で、国内外の約<b>160事例</b>が掲載される見込みです。</p>

## イベントでの発信

	オンラインワークショップ	COP28サイドイベント 現地セミナー
名称	Online Workshop for Net-Zero and Well-Being in Life	COP28 Side Event Seminar for Net-Zero and Well-Being in Life
日程	<b>令和5年11月16日(木) 16時～19時(予定)</b>	<b>令和5年12月8日(金) 16時30分～17時45分(UAE時間・予定)</b>
開催方法	オンライン 後日、事務局より、Zoom事前登録のご案内を送付します。また、後日、G7プラットフォームに動画をアップロード予定です。	COP28会場 Expo City Dubai Zoomでの配信ができるよう調整中、また、後日、G7プラットフォームに動画をアップロード予定です。
言語	英語、日本語(同時通訳)	英語、日本語(同時通訳)
内容	<p>需要対策における複数のテーマについて、企業・団体による事例のプレゼンテーション等を行います。なお、以下の方々が登壇予定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ダイキン工業株式会社</li> <li>フランス政府</li> <li>Olio Exchange Limited</li> <li>Sport Positive Ltd.</li> <li>Sustainable Apparel Coalition</li> </ul> <p>他の登壇者については、現在調整中のため、決定次第、お知らせします。</p>	<p>日本・インドの両大臣挨拶(予定)、オンラインワークショップの成果(議論の内容)の共有、企業・団体による事例のプレゼンテーション等を行います。なお、以下の方々が登壇予定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社アシックス</li> <li>ライオン株式会社</li> <li>パナソニックホールディングス株式会社</li> <li>SBパワー株式会社</li> </ul> <p>他の登壇者については、現在調整中のため、決定次第、お知らせいたします。</p>

# 新規の連携実践プロジェクト

- 新たに3件のプロジェクト提案がありました。連携先を募集します。
- 関心、質問等があれば事務局までご連絡ください。

## プロジェクト内容

## 参加企業・団体

### 「場・機会」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

提案者

松山市

「まつやま環境フェア2023」の企画・主催

### 「製品・サービス」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

事業者

脱炭素に繋がる商品・取組・アプリなどを紹介  
 ※ポスター掲示のみでも可能  
 ※販促営業は不可  
 ※出展費用は無料・旅費は事業者負担

連携先募集:  
令和5年11月17日まで

応援拠点

### 5,000名来場見込み

#### 「まつやま環境フェア2023」の開催

- 内容：  
松山市の環境への取組を知っていたくほか、ステージイベントや各種ブースなどを通じて、環境について楽しく学べるイベントを実施
- 日時：令和6年1月20日（土）  
令和6年1月21日（日）
- 場所：アイテムえひめ大展示場

国際・教育・人材育成

### 「チャレンジ1.5℃」の展開

- 内容：  
若者をターゲットに作成された国連環境計画（UNEP）のテキスト「GEO-6 for Youth」をもとに作成したオンライン教材を提供

提案者

一般社団法人  
SWITCH

オンライン教材を提供

事業者  
自治体

オンライン教材の使用  
社員等の行動変容

連携先募集:随時

# 新規の連携実践プロジェクト

- 新たに3件のプロジェクト提案がありました。連携先を募集します。
- 関心、質問等があれば事務局までご連絡ください。

## プロジェクト内容

## 参加企業・団体

### 「場・機会」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

提案者

日揮ホールディングス

Fry to Fly Projectの企画・主催

### 「製品・サービス」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

事業者

- ① Fry to Fly Projectにご参画いただく
- ② 企業様のチャンネル（イベントSNS等）の中で、プロジェクトをご紹介いただく
- ③ 廃食用油の回収も可能のため、ご要望あればお声がけください

自治体・団体

- ① Fry to Fly Projectにご参画いただく
- ② 自治体・団体の媒体でご紹介いただく
- ③ 廃食用油の回収も可能のため、ご要望あればお声がけください
- ④ 学校などでの出前授業も可能のため、ご要望あればお声がけください

連携先募集:随時

廃食用油で空を飛ぶ！！  
全員参加型、できること無限のプロジェクト  
Fry to Fly Projectの開始

- 内容：  
ご家庭や店舗などで発生する廃食用油という国内資源を原料とするSAFで、航空機が飛ぶ世界を実現するプロジェクト  
消費者への啓発、大型施設・飲食店でのキャンペーン、SDGs教育などを行う
- ご参画費用：無料

応援拠点

## 協議会会員からの提案、意見、要望

- 前回会合以降、183件の提案、意見、要望をいただきました。
- 提案等の詳細については、別紙資料をご確認ください。

予算要望	件数	概要
募集期間：9月8日(金)～9月22日(金)	55件	住宅、インセンティブ、教育など多岐にわたる要望をいただきました。
10年ロードマップ		
募集期間：9月8日(金)～10月6日(金)	17件	住宅の省エネ・再エネ化、デジタルワークの実践などの項目に対し、様々な意見をいただきました。
提案等		
募集期間：9月8日(金)～10月6日(金)	111件 (合計)	提案等の一例を以下の記します。 詳細は、Excelファイルをご確認ください。

### 【住宅省エネ（断熱等）】

- ・ 補助金利用者の増加につながるような取組（住宅省エネ支援事業者の要件緩和、交付率アップなど）の強化

### 【服装・サステナブルファッション】

- ・ 廃棄される衣料品のリサイクルをリサイクルステーションを通して拡大することが必要

### 【連携実践・普及啓発】

- ・ デコ活イベント（エコプロのようなイベント）が必要ではないか

### 【デコ活全般】

- ・ 広く一般の家庭を対象としたデコ活とは別に、産業部門に特化した事業の創設も検討していただきたい。
- ・ CNの実現には脱炭素・低炭素製品が売れる市場の創出が必要と考える。日本においては本市場の形成が出来ておらず、企業努力の上での環境取組に留まっている。消費者が脱炭素・低炭素製品を選ぶ仕組みが出来ていないため、消費者の環境意識に依存している。特にBtoBtoC領域（小売りを通した日用品等）は直接消費者ニーズを汲み取れておらず市場形成に難航している。 など

いただいた提案等は、全て環境省及び事務局で確認し、適宜ヒアリングも実施しています。  
デコ活及びデコ活応援団に対し提案等がありましたら、引き続き事務局までご連絡ください。

# 実践プロジェクトの結果報告

- 1 件のプロジェクトの実施結果を報告します。

## プロジェクト内容

## 参加企業・団体

### 「読売カーボンニュートラル・デイ Vol.3」でのパネルディスカッション

- 内容：脱炭素をテーマにしたオンラインフォーラムにおいて、産官学の識者が登壇し知見の共有と議論を実施
- 場所：都内ホール
- 日時：令和5年8月30日

### 「場・機会」の提供者

提案者

読売新聞

「読売カーボンニュートラル・デイ Vol.3」を主催し、また読売新聞全国版朝刊にて広報展開

### 「製品・サービス」の提供者

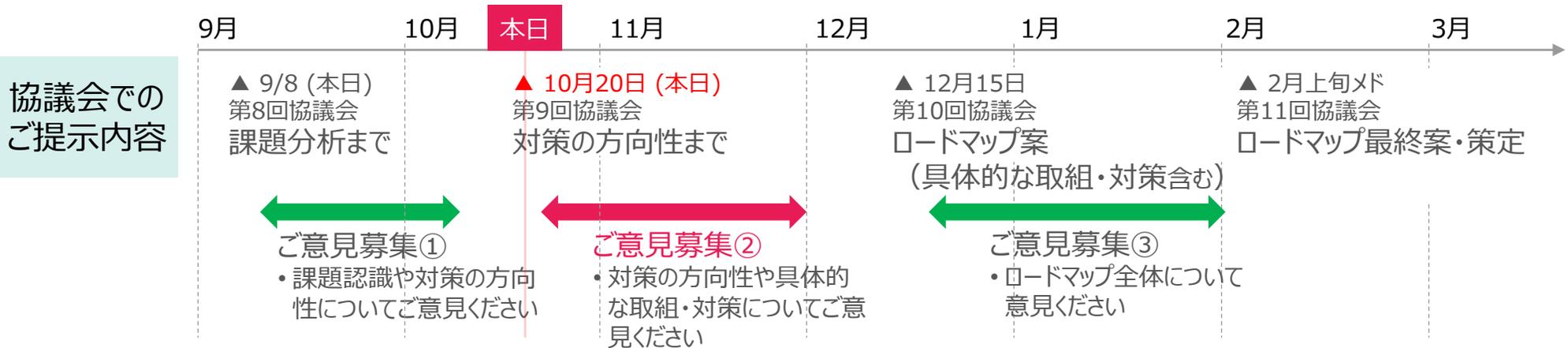
NTTドコモ

暮らしの中の脱炭素をテーマとするトークイベント（セッション3 始めよう、脱炭素なくらし）へ登壇

応援拠点

## 「暮らしの10年ロードマップ」の策定

- 新資本主義実行計画（R5.6.16閣議決定）に基づき、国民・消費者の行動変容・ライフスタイル転換を促し、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを実現するための必要な方策・道筋を示す。  
**「暮らしの10年ロードマップ」（仮称）**を本協議会（デコ活応援団）で議論いただき、今年度中に策定する予定ですので、ご協力をお願いします。
- 暮らしの全領域（衣食住・職・移動・買物）を大きく7つの分野に分け、それぞれ見込まれる**課題・ボトルネック**に対応する**取組・対策**を明らかにしてロードマップに位置づけ、政府として必要な**支援・政策**を最大限実施しますので、**ぜひ積極的にインプット、ご意見いただきますよう、お願いします！**
- 今回は**対策の方向性まで**お示しますので御議論の上、**11月15日（水）までにご意見を頂戴できれば幸いです（対策の方向性や具体的な取組・対策など）。**



- 意見提出は、事務局に直接いただくか、スモールグループでご議論・ご意見を頂戴するか、いずれかをお願いします。
- ご不明点・ご質問・ご意見は事務局 [Decarbonized@bcg.com](mailto:Decarbonized@bcg.com) までご連絡ください。

# ロードマップのスコープ（暮らし全領域を大きく7分野に）

1

住[外]

住宅の省エネ・再エネ化  
(断熱化、太陽光発電等)

2

住[内]

エコグッズの選択  
(LED、家電、給湯、節水等)

3

衣

クールビズ・ウォームビズ、  
サステナブルファッションの実践

4

買・食

地産地消、適量購入・食べきり  
ゴミの削減・分別

5

職

デジタルワークの実践  
(テレワーク等)

6

移

次世代自動車の導入  
環境負荷がより少ない移動  
へのシフト

7

基盤

情報（教育・ナッジ）  
インセンティブ

毎月3万6千円浮きます（年43万円）

一日プラス1時間以上を好きなことに（年388時間）

## 前回協議会後にいただいたロードマップに関するご意見等

■ ご意見フォーム及びスモールグループを通じ、計36件のご意見・ご質問をいただきました。必要に応じてやり取りをさせていただきます。

分野	取組提案	その他意見	質問	計
①住[外]	1. 「健康」「医療」の観点からの部分断熱等の促進も視野に入れるべき 2. 積立預金や貯金、ローン等の費用負担軽減策が必要 3. 地盤改良技術を含む建築技術についても改良が必要 4. 歩道の木質舗装化を進めるべき	1件		5件
②住[内] エコグッズ	1. 古いが故障していない家電等を探して気付きを与える取組の実施が重要 2. HEMS普及拡大に当たっては、電力明細のWeb画面の活用から始めるべき 3. LEDのメリット訴求に力を入れるべき	1件		4件
③衣			1件	1件
④食・買		2件	1件	3件
⑤⑥移・職	1. 自動車に乗らない層へのアプローチも必要（レンタサイクル、レンタルスクーター等） 2. 地域の実情に応じたメリハリのある対策が必要 3. 運転教習の受講、車購入、免許更新等の機会を活用した普及啓発 4. 行動に対してエコポイントを付与すべき 5. テレワーク実施に対するインセンティブ等を制度化すべき	3件	3件	11件
⑦基盤	1. CO2削減量の算定ルールを作成・統一すべき 2. 環境関連ポイント制度の広域化、統一化、互換化等が必要 3. 中小企業に対する情報提供・普及啓発が重要 4. 若者から若者への提供する意識啓発・環境教育も重要 5. 「デコ活」自体の認知度を高めるセミナーの実施 6. 位置情報を含むデータ連携の規格の検討が必要 7. 若者が情報発信できる仕組みが必要	3件		10件
全体		2件		2件
計	19件	12件	5件	総計 36件

# ①【住[外]】住宅の省エネ・再エネ化（断熱化、太陽光発電 等）

現状

- 住宅ストックのうち省エネ基準適合住宅は14% (2021年度)
  - 新築の省エネ基準適合住宅は74万件 (2021年度)
  - 省エネリフォーム受注件数は28万件 (2022年度)
- 2021年度の新築戸建住宅への太陽光発電設備導入率は22%

- 2030年度までに住宅ストックの30%を省エネ基準に適合 (温対計画)
  - うち5%を省エネリフォームにより達成(年41万件)
- 2030年度までに新築戸建住宅の6割に太陽光発電設備を搭載 (第6次エネルギー基本計画)

ゴール

## 国民・消費者にとっての行動制約要因（ボトルネック）

意欲

- 省エネ化・再エネ化のメリット（経済性・快適性・健康面など）を知らない、感じたことがない
  - 消費者の4割は「住宅の断熱」を知らない<sup>1)</sup>
  - 過去10年間でFIT売電価格が半減するのに伴い、住宅への太陽光発電の年間導入量も半減<sup>2)</sup>

実践

- 初期費用など大規模な支出に躊躇する
  - 新築時の省エネオプション追加には約90万円、既存住宅の省エネリフォームには約230万円かかる<sup>3)</sup>
  - 住宅向け太陽光発電設備は約130万円かかる<sup>4)</sup>
- 断熱工事に時間がかかり待ちきれない・タイミングが合わない、手間がかかるのが煩わしい
  - 消費者の3割は「手間時間」を理由に窓の断熱化を行わない<sup>5)</sup>

## 左記のボトルネック解消に向けた対策の方向性

- 住宅の省エネ化・再エネ化のメリットを国民・消費者に伝え、良さを実感・体感できる機会を提供する
- 支払を平準化したり、一回の支払金額が多くならなくて済む仕組み・商品・サービスを提供する
- 時間が短くて済むなど消費者のタイミングに合わせ、手間がかからない断熱化を、国民・消費者に届ける

1. LIXIL「住まいの断熱」に関する意識調査(2022); 2. 調達価格等算定委員会「令和5年度以降の調達価格等に関する意見」によると、住宅向け太陽光発電設備のFIT売電価格は2012年度42円/kWh→2022年度17円/kWh。太陽光発電協会「第79回調達価格等算定委員会資料」によると、導入量は2012年度27万件→2021年度15万件; 3. 住宅生産団体連合会「なるほど省エネ住宅－快適・安心な住まい」; 4. 調達価格等算定委員会「令和5年度以降の調達価格等に関する意見」によると、システム費用の平均値26.1万円/kW (2022年度) × 5kWを想定; 5. 低炭素社会戦略センター「民生家庭部門の断熱改修普及分析に基づく家庭の脱炭素化に向けた提言」

## ②【住[内]】エコグッズの選択（LED照明、省エネ家電（エアコン・冷蔵庫・洗濯機）、高効率給湯器、節水機器、HEMS等）

現状

エコグッズは市場に流通しているが、既存ストックの置換えは道半ば

- 2021年度末までに高効率給湯器は2,094万台、LED照明は4.2億台、HEMSは740万台が導入済み
- エアコン・冷蔵庫は約5割が10年以上前の製品を利用。節水機器は1-3割の導入に留まる

- 新しく環境に優しい製品(エコグッズ)により、古い家電・製品の置換えやスマート機器が広く普及
- 温対計画では、2030年度末までに高効率給湯器を累計4,940万台、HEMSを累計4,941万台の導入が目標

ゴール

### 国民・消費者にとっての行動制約要因（ボトルネック）

意欲

- エコグッズ利用によるメリット（経済性や快適性など）、意義（気候変動や水環境への貢献等）を知らない、分からない
  - 省エネ機器について「どれくらい省エネ効果があるのかよくわからない」(47.9%)<sup>1)</sup>
- 以前の「高い」「操作が難しい」等のイメージが残り、最新情報が認識されておらず、忌避されている
  - LED電球は普及価格帯(1000-3000円程度)で、寿命も考えると、白熱電球や蛍光灯よりも安い<sup>2)</sup>が、「費用がかかる」(38%)と認識<sup>3)</sup>
  - HEMSについては、スマホを使いコストをかけず簡単操作する方法もあるが、専用のHEMSコントローラ購入の費用・手間が必要と思われる<sup>3)</sup>

実践

- 省エネ性能の高い家電などは価格が高く、大きな出費に躊躇する
  - 消費者の8割にとって「価格」が家電購入の決め手<sup>4)</sup>
- 一部の機器は導入に時間がかかり、待ちきれない・タイミングが合わない
  - 既存の集合住宅での高効率給湯器(潜熱回収型)の導入に当たっての管理組合の承認や工事に数週間を要する<sup>5)</sup>

### 左記のボトルネック解消に向けた対策の方向性

- エコグッズを選ぶ意義・メリットを国民・消費者に伝える
- 機会損失を防ぐためにも、これからのエコグッズの最新の情報を国民・消費者に伝え、正しい理解を促す
- 支払を平準化したり、一回の支払金額が多くならないで済む仕組み・商品・サービスを提供する
- 事前準備を行うなど、導入時間が短縮される取組を国民・消費者に広げていく

1.リナイ「省エネに関する意識調査」；2.経済産業省「LED照明産業を取り巻く現状」；3.環境省「令和4年度脱炭素ライフスタイル推進事業の高度化検討等委託業務」(2022年)によると、HEMS導入の阻害要因は「費用がかかりすぎる」(33%)、「手間がかかりすぎる」(21%)；4.価格.com「白物家電についてのアンケート」；5.経済産業省「高効率温水機器の普及について」

### ③【衣】クールビズ・ウォームビズ、サステナブルファッションの実践

現状

- 2021年度におけるクールビズ・ウォームビズの実施率は76~92%
- サステナブルファッションの実施率は4%

- クールビズ・ウォームビズが全国民に実践され、サステナブルファッションの取組が一般に普及
  - 温対計画では2030年度までにクールビズ・ウォームビズをそれぞれ実施率100%とする

ゴール

国民（消費者・働き手）にとっての行動制約要因（ボトルネック）

左記のボトルネック解消に向けた対策の方向性

意欲

- 1 サステナブルファッションの意義（環境負荷低減、衣類の長寿命化等<sup>1)</sup>）やメリット（長期使用で経済的等）が分からない
  - ファッションを取り巻く社会問題（衣類の大量廃棄、海外依存等）は、消費者の50%以上が認知していない<sup>2)</sup>

- 1 サステナブルファッションの意義やメリットを国民に分かりやすく伝える

- 2 クールビズ・ウォームビズの服装選びが手間、着こなしが難しい
  - クールビズは「見た目がだらしくなる」(14%)「TPOを考慮した服装選びが面倒」(10%)<sup>3)</sup>

- 2 快適でおしゃれな服装・着こなしの方法を国民に提案したり、サービスとして提供する

実践

- 3 サステナブルファッションの選択、衣類回収などの機会・情報（何をしたら良いか、サステナブルな素材や製造法を使っているか等）が限られている
  - 消費者が実施できない理由は「実施の方法が分からないため」(15%)、「どこで購入等できるか分からないため」(14%)<sup>4)</sup>

- 3 国民がサステナブルファッションを実践できる機会を大幅に拡大するとともに、必要な情報を提供する

- 4 業界慣習やドレスコードで、クールビズ・ウォームビズを実践できない
  - クールビズを実施できない理由は「服装に規定があるため（制服、ドレスコードなど）」<sup>4)</sup> (25%)

- 4 クールビズ・ウォームビズはもとより、「TPOに応じた服装の自由化」を当たり前化する

1. 環境省 サステナブルファッションHP; 2. 環境省「令和2年度ファッションと環境に関する調査業務」; 3. 日本気象協会「クールビズに関するアンケート調査」(2017); 4. 環境省「令和4年度脱炭素ライフスタイル推進事業の高度化検討等委託業務」(2022年)

## ④【買・食】地産地消・食べきり（食品ロス対策）、ごみの削減・分別（資源循環）

現状

- 地産地消の実施率は15% (2023年度)
- 家庭からの食品ロス発生量は244万トン (2021年度)
- 廃プラスチック焼却量は365万トン(2021年度)

- サステナブルな食習慣 (地産地消・必要な分の購入・食べきり) やゴミの削減・分別が広く国民で当たり前実践される
  - 2030年度までに、地産・旬産の食材を容易に購入できる状態とし、その購入の実施率を30%に高める
  - 2030年度までに家庭の年間食品ロス発生量を216万トンまで削減
  - 2030年度までに、廃プラスチックの焼却量を278万トンまで削減する

ゴール

### 国民・消費者にとっての行動制約要因（ボトルネック）

意欲

- 1 地産地消・食べきり(食品ロス削減)を実践するメリット(経済性、鮮度・食味等)や意義(地域活性化、環境貢献等)が分からない
  - 消費者は地産地消に「メリットを感じない」(25%)、食品ロス削減は「自分一人が取り組んでも意味がない」(50%)<sup>1)</sup>
- 2 ごみの削減・分別(資源循環)を実践するメリット(家計負担軽減、大量消費の防止等)や意義(環境貢献等)が分からない
  - 消費者は、「手間がかかる」(33%)、「自分ひとりが取り組んでも意味がないと思う」(27%)<sup>1)</sup>

実践

- 3 サステナブルな食生活の実践(地産旬産食材の購入、フードバンクやフードドライブ等の実施、飲食店等での食べ残しの持ち帰り、フードシェアリングなど)の機会が限られている
  - 食べ残しを持ち帰らない理由のトップは「店の許可が取れるか分からなかった」(31.9%)<sup>2)</sup>
  - 消費者の24%は地元農産物の販売場所がわからない<sup>3)</sup>
- 4 ごみの削減・分別などの資源循環の実践(プラスチック製品の分別回収など)の機会が限られている

### 左記のボトルネック解消に向けた対策の方向性

- 1 **地産地消・食べきりやごみの削減・分別の意義やメリットを国民・消費者に分かりやすく伝える**
- 2 **国民・消費者がサステナブルな食生活や資源循環を実践できる機会を拡大するとともに、必要な情報を提供する**

1.環境省「令和4年度脱炭素ライフスタイル推進事業の高度化検討等委託業務」(2022年)、2.消費者庁「食べきれなかった食品の持ち帰りに関する意識調査結果」、3.仙台市「地産地消に関するアンケート調査」4.環境省「消費者・大口排出者がリユース業界に求める要件」

## ⑤⑥【職】【移】テレワーク、次世代自動車・環境負荷がより少ない移動へのシフト

現状

- ・ コロナ禍では一時5割に迫ったテレワーク実施率はその後の出社回帰により約2割まで減少
- ・ 2021年度末の新車販売台数のうちハイブリッド自動車は44%で目標を達成済み。一方、電気自動車は1%に留まる
- ・ 2018年度の「自家用交通からの乗換輸送量」は60億人キロ、2015年度末の「通勤目的の自転車分担率」は15%
- ・ 2021年度末のエコドライブ実施率は64%

- ・ 全ての人々が望んだ時に最適な場所でテレワークを選択できる
- ・ 自家用車の購入や移動手段の検討時に次世代自動車や公共交通機関が優先的に検討されることの一般化
  - 2030年度までに「新車販売台数における次世代自動車の比率」を50~70%とし、そのうちハイブリッド車は30~40%、電気自動車は20~30%
  - 2030年度までに「自家用交通からの乗換輸送量」を163億人キロ
  - エコドライブの実施率を67%、通勤目的の自転車分担率を20%とする

ゴール

### 国民（消費者・働き手）にとっての行動制約要因（ボトルネック）

意欲

- 1 次世代自動車・環境負荷のより少ない移動へのシフトの意義（地域活性化や脱炭素など）やメリット（柔軟な働き方やワークライフバランスなど）が分からない
  - ・ 次世代自動車を購入しない理由は、「メリットがない不在」(26%)<sup>1)</sup>

### 左記のボトルネック解消に向けた対策の方向性

- 1 **次世代自動車・環境により優しいモーダルシフトの意義やメリットを国民・消費者に分かりやすく伝える**

実践

- 2 テレワーク（デジタルワーク）を行うルールや条件が整っていない
  - ・ 従業員がテレワークを実施しない理由は、「勤務先にテレワークできる制度がない」(28%)、「テレワーク用の執務環境が整備されていないため」(6%)<sup>2)</sup>

- 2 **国民がテレワーク・デジタルワークをできるようルールや条件を整え、またベストプラクティスなどの必要な情報を提供する**

- 3 次世代自動車は購入費用など大規模な支出に躊躇する
  - ・ 次世代自動車を購入しない理由は、「費用が高い/高そうであるため」(65%)<sup>1)</sup>

- 3 **支払の平準化や、金額を下げる商品・サービスの組み合わせの利用を促進する**

1. 環境省「令和4年度脱炭素ライフスタイル推進事業の高度化検討等委託業務」(2022年)、2. 総務省「令和3年通信利用動向調査の結果」

## ⑦【基盤】情報(教育・ナッジ)、インセンティブ等

現状

製品やサービスごとのCO2排出量算定やインセンティブ付与は、いずれも実証的な取組に限られる

すべての国民が必要な教育・知識を得られ、行動変容に必要なナッジ等の効果的な情報やインセンティブを受けられる

- 行動変容やライフスタイル変革に必要な知識が提供され、行動変容に対する意識及び理解が広く浸透
- 製品やサービス購入に伴うCO2排出量の見える化と、排出削減量に応じたインセンティブ付与が一般化

ゴール

国民（消費者・働き手）にとっての行動制約要因（ボトルネック）

意欲

- 1 行動変容のベースとなる、気候変動などの理解や関心が十分と言えない
  - 「地球温暖化/気候変動問題」について、あなたご自身の行動は、どのように変化しましたか」という問いに対し、「地球温暖化/気候変動問題を知って行動を変えた」と回答した人は19%<sup>1)</sup>

実践

- 2 行動変容の意欲を高め、また実践を促すインセンティブを受けられる機会が質・量ともに不十分
- 3 実際の行動変容を後押しする効果的な気付き（ナッジ）を与えられる機会が質・量ともに不十分

左記のボトルネック解消に向けた対策の方向性

- 1 **気候変動の現状・今後などの背景情報を含む教育・知識を、体験の機会も含めて、行動変容につながるよう体系的に、国民・消費者に提供する**

- 2 **衣食住/職/移動/買い物といった全ての生活領域で、行動変容が促される経済的・社会的なインセンティブを、持続的かつ分かりやすい形で国民・消費者に提供する**

- 3 **行動変容が促される効果的なナッジを、全ての生活領域で、国民・消費者に分かりやすい形で提供する**

# 次回予告

## 新規提案、意見等の 提出

- ✓ 暮らしの10年ロードマップへの意見等の提出については、**11月15日(水)**までに事務局へご連絡ください。
- ✓ 次回(第10回)会合に向けた新規提案、意見等の提出、予算関連の事業提案等については、**11月30日(木)**までに事務局へご連絡ください。
- ✓ 本日紹介したプロジェクトについては、各期限までに事務局へご連絡ください。

## 第10回デコ活応援団会合

### 日時

- **12月15日(金) 10時～**【オンライン形式で実施予定】

### 議事内容(現時点想定)

- 暮らしの10年ロードマップの議論③
- 新規提案プロジェクト など

参加が難しい方向けに動画の共有を行っています。  
意見等も承りますので、事務局までお気軽にご連絡ください。

---

## 卷末資料

---

xx: 前回協議会からの更新箇所

## プロジェクト内容

## 参加企業・団体

インセンティブ

インセンティブ付与により消費者の節電を促すアプリ・機能の普及・強化

- 内容：消費者に節電を促すスマホアプリやアプリを構成する個別機能（DRシステム、インセンティブ付与など）の利用シーンを拡大し、また幅広いシーンでの消費者の脱炭素行動のさらなる促進に向け追加機能を共同開発・強化

応援拠点

百貨店の催事場にて、脱炭素製品の購入、ゼロカーボンシティ宣言都市へふるさと納税による直接寄付ができるイベント「ピースフォーアース」の開催

- 内容：脱炭素配慮型の消費財メーカーや脱炭素の取組に積極的な自治体が出展し、百貨店の催事場にて製品を販売/ふるさと納税の返礼品を提供するイベントを実施
- 日時：令和6年3月
- 場所：東京都の百貨店

### 「場・機会」の提供者

企業・団体名 期待される役割

百貨店

二子玉川の高島屋アリーナサロンをイベントスペースとして提供

集客対象：ママ（成長意欲の高い層）世田谷区全幼稚園、小学校、中学校にNPOからの啓発コンテンツ提供を通し、集客。対象の学校は100校超、子供数5万人超を想定。

### 「製品・サービス」の提供者

企業・団体名 期待される役割

提案者

SBパワー

「エコ電気アプリ」全体や「エコ電気アプリ」が搭載する機能を提供

電気小売事業者

「エコ電気アプリ」やエコ電気アプリが搭載する機能を、自社の電気利用者向けに展開し、節電を促進

連携先募集：随時

その他事業者

節電アプリとの連携により、消費者の脱炭素に繋がる行動を促す仕組みを共同で検討・開発

連携先募集：随時

提案者

フォーエヴァーグリーン

「ピースフォーアース」の企画・主催

消費財メーカー

イベントに出展し、食料品や日用雑貨など脱炭素に貢献する製品を紹介・販売

連携先募集：令和6年1月まで

自治体（ゼロカーボンシティ宣言都市）

ふるさと納税返礼品の紹介ブースの出展（返礼品をその場で返礼することも検討中）

連携先募集：令和6年1月まで

xx: 前回協議会からの更新箇所

### プロジェクト内容

### 参加企業・団体

応援拠点

#### COOL CHOICE 2023 inしずおか

- 内容：
  - ①静岡鉄道の電車とバス一日フリー乗車券の配付の支給と沿線付近のイベントとの連携により、CO2排出量の少ない鉄道利用を促進する周遊企画
  - ②ゼロカーボンアクションに関する体験・学べる場所の提供
- 日時：令和5年11月
- 場所：静岡市内

#### 「場・機会」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

提案者
静岡鉄道

「COOL CHOICE 2023 in しずおか」を企画・開催

#### 「製品・サービス」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

提案者
静岡鉄道

静岡市内の小学生に対し、11月18,19,23,25,26日のいずれかで利用可能な一日フリー乗車券を約32,000枚配付

企業・団体
-------

ゼロカーボンアクションを体験・学べるイベントブースの出展 (@グランシップ大ホール)

企業・団体
-------

11月に静岡市内で実施予定のイベントがあれば、情報発信での協力など、周遊企画と連携

普及・啓発

#### 高校生向けの啓発ワークショップ「Blue Earth 塾」の開催

- 内容：全国各地の高校で、生徒に対し脱炭素製品の開発・普及をテーマに思考・議論を促すワークショップを開催
- 場所：福岡県(12月)
- 今年度の募集は終了しました。来年度も各地でBlue Earth塾を開催予定ですので、ご興味がありましたらご連絡ください。

高校
----

ワークショップが実施される場を提供することで、自校の生徒がサステナビリティについて学ぶ機会を用意

提案者
NPO法人 Blue Earth Project

ワークショップの事前準備、当日ロジ、事後のアンケート調査といった運営面を担当

企業
----

特定の商品や企業として脱炭素に取り組む上での課題感を、ワークショップにおける議論のテーマとして共有

xx: 前回協議会からの更新箇所

## プロジェクト内容

## 参加企業・団体

### 「場・機会」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

食品小売  
事業者

「ララひらたけ」を菌床から採集体験できる場所を提供

連携先募集:  
随時

### 「製品・サービス」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

提案者

楽々

採集体験のための菌床の提供と、生産技術の普及啓発、提供

農家  
企業

農地や遊休不動産を活用し、茸菌床製造・茸生産技術と生産後の菌床を堆肥化する技術を活用した農業の展開

連携先募集:  
随時

応援拠点

生産時のCO2排出量が少ない「ララひらたけ」の認知拡大と生産技術の展開

- 内容：自然由来のリサイクル原料とボイラー不使用の発酵技術による省エネ栽培で作られ、また農薬・添加物不使用のきのこ「ララひらたけ」を採集体験できる場の提供と生産技術の展開

普及・啓発

### 「0円服の交換会」の開催

- 内容：参加者が着なくなった服を持ち寄り、持ち寄った枚数と同数の衣服を無料で持ち帰ることができる衣服の交換会の開催

自治体・  
百貨店・  
その他企業

「0円服の交換会」の開催場所の提供  
継続して自主的に運営するための体制構築

連携先募集:  
随時

提案者

ワンピース

「0円服の交換会」を主催し、衣服の管理や当日の運営を担当

xx: 前回協議会からの更新箇所

## プロジェクト内容

## 参加企業・団体

応援拠点

### 環境・防災の啓発活動／製品PR

- 内容：気象キャスターによる環境・防災の啓発活動とともに、環境配慮型の製品・サービスをPR
- 日時：2023年度
- 場所：学校、公民館、科学館

(※上記前回協議会時点の情報)

### 「場・機会」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

学校	全国の小学校・中学校・高等学校での出前授業を開催
公民館や科学館	イベント・講座を開催
企業	イベント会場の提供 連携先募集：随時

### 「製品・サービス」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

提案者 NPO法人 気象キャスターネットワーク	啓発活動、企業様の環境配慮型の製品・サービスのPRを実施
企業	脱炭素に貢献する製品・サービスを紹介、気象キャスターネットワークを連携してPRを実施 連携先募集：随時

普及啓発

### 「命を守る一部屋（健康省エネルーム推進事業）」の実施

- 内容：健康省エネルームを拡大するため、改修費用を一部補助し、また地域住人・事業者へ普及啓発活動を実施
- 日時：2023,24年度  
(2023年度、全国6自治体においてモデル事業を推進)

国土交通省	住宅の省エネ性能を向上させる改修を行った主体に対し、設計等費及び改修工事費の一部に補助金を交付
地方自治体	国土交通省と共に、改修かかる費用に対し補助金を交付（社会資本総合整備交付金を充当） 連携先募集：随時

提案者 健康・省エネ住宅を推進する国民会議	事業全体の事務局として各自治体と連携先となる事業者を結び、啓発イベントや講習の開催・運営を担当
建築事業者	地域の改修業者に対し、省エネ改修技法の共有や改修指導を実施 地域住民・医療への講習 連携先募集：随時
医療事業者	自治体、地元医療団体・医学部に対し、健康と住環境の関連性に関する学習会を実施 連携先募集：随時
保険事業者	環境改善による健康や介護への影響を医療関係者や自治体と共同調査 連携先募集：随時

# プロジェクトの進捗状況（個別）

xx: 前回協議会からの更新箇所

## プロジェクト内容

## 参加企業・団体

### 「場・機会」の提供者

企業・団体名 期待される役割

### 「製品・サービス」の提供者

企業・団体名 期待される役割

意識啓発

「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクト&アンバサダーチームによる環境配慮商品の開発・普及の支援

- 内容：著名人が所属する環境省の取組であるアンバサダー制度を活用し、企業・団体・自治体と連携してサステナブルなライフスタイルやウェルビーイングを拡大

提案者

the Organic

専門的知見をもったアンバサダーを派遣し、環境配慮型「製品・サービス」の企画・プロモーション支援を実施

NTTドコモ

カボニューアンバサダーと連携し情報発信・イベントの実施（詳細は今後決定）

企業・団体・自治体

アンバサダーを活用した製品・サービスの開発

連携先募集：随時

インセンティブ

国民・消費者の行動を見える化し、ポイント付与

- 地域のゼロカーボン施策の取組と連動する事業モデルの共創
- 自治体への提案実施（継続中）

自治体

実証の場を提供いただける自治体との連携を希望

連携先募集：随時

提案者

アジア航測

実証事業の基盤となるパッケージ「こつこつ(CO2CO2)」(アプリ/サービスを含む)を提供

企業

アプリによる見える化の対象となる製品/サービスを提供する企業との連携を希望

連携先募集：随時

ワーケーション

SDGsの普及啓発/実践と、ワーケーションの組み合わせ

自治体 / 地域NPO等

ワーケーションの受入れ

提案者

損保ジャパン

ワーケーション参加者向けのSDGsの普及/実践に関する研修パッケージ(SDGsカードゲームなど)/保険の提供

xx: 前回協議会からの更新箇所

## プロジェクト内容

## 参加企業・団体

### 「場・機会」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

提案者

大阪府

小売事業者等を募るとともに、脱炭素に資する商品・サービスを購入した消費者に対して、上乗せ付与するポイント原資の一部支援

### 「製品・サービス」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

大阪府内の事業者

脱炭素に資する商品・サービスを購入した消費者に対して、ポイント付与を実施、効果検証の協力（今年度の参加事業者の募集は終了）

連携先募集：  
随時

インセンティブ

脱炭素ポイント付与による府民の脱炭素行動後押し

- 内容：小売事業者等が現在運用しているポイントシステムを活用し脱炭素に資する商品・サービスを購入した大阪府の消費者に対してポイントを上乗せ付与

上記の取組を、自治体・事業者へ展開

- 脱炭素に資する商品・サービスを購入した消費者に対しポイントを上乗せ付与する取組を全国へ展開

インセンティブ

提案者

大阪府

上記事業に係る仕組み・実証結果の情報提供

自治体

上記事業の成果等を参考に、大阪府と同様の事業を展開

連携先募集：  
随時

応援拠点

食用油の循環型社会実現の為、廃油回収効率化（回収拠点等の設置・広報）への取組

- 食用油の回収率を上げるとともに、回収効率を改善することで植物油メーカーとの協業による販売から廃食油回収までの循環型社会を実現させる（関係会社へのヒアリングの実施）

コンビニ/GS/  
食用油メーカー

廃食油の回収拠点の検討  
食用油の販売から廃食油の回収への循環型社会の実現

提案者

モバイルソリューション  
ティーアイシー

廃食用油の回収、SAF燃料への転換

自治体/企業

食用油の回収、資源循環について市民への広報を実施

連携先募集：  
随時

# プロジェクトの進捗状況（個別）

xx: 前回協議会からの更新箇所

## プロジェクト内容

## 参加企業・団体

### 「場・機会」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

小田急	イベントを開催する場所を提供
-----	----------------

### 「製品・サービス」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

提案者	
PlayBlue	衣類回収、古着の物々交換会、染め直しオーダー受付、アップサイクルブランドの展示・販売を実施するイベントを開催

ファッショナブル

"洋服染め直し"の魅力発信によるアップサイクルプラットフォームの利用促進を通じたアパレルロス削減

- アパレル企業の滞留在庫のアップサイクル、染め直しサービスの提供

"服の循環を生み出す"コミュニティ形成と場の提供によるアパレルロス削減

- 古着の回収/古着の物々交換/染め直しオーダー受付などのアップサイクルの取組を通じた古着の地域循環

応援拠点

商業施設においてサステナブルな社会づくりにつながるテーマについて総合的に発信

- 内容：プラスチック削減や廃品回収、森里川海等をテーマにした展示会、子供向けの啓発を目的とした展示会/ワークショップ「SDGs コトモノカレッジ」等
- 場所：そごう（横浜店・千葉店・広島店・大宮店）西武（所沢S.C.・東戸塚S.C.・福井店・秋田店）

提案者
そごう・西武

各店舗において、本取組の企画・主催、場の提供、各種媒体・広報によるプロモーションを行う

企業	サステナブルをテーマとした展示を行う 例) KDDI、東洋製罐GHD ※販売や会員募集は不可	連携先募集: 随時
団体/NPO	サステナブルをテーマとした展示を行う ※販売や会員募集は不可	連携先募集: 随時
自治体	サステナブルをテーマとした展示を行う 例) 埼玉県・所沢市、広島県・広島市 千葉県・千葉市	連携先募集: 随時

xx: 前回協議会からの更新箇所

## プロジェクト内容

## 参加企業・団体

### 「場・機会」の提供者

企業・団体名 期待される役割

### 「製品・サービス」の提供者

企業・団体名 期待される役割

インセンティブ

生活者の環境行動を見える化、評価し促進する仕組み、「The POSITIVE ACTION Initiative」の検討

- 内容：環境行動の可視化とライフログの蓄積の仕組みについて2024年度の社会実装を目標に共同検証を行う
- 日時：2022-23年度（22年度：構想検討、23年度：実証&実装検討）

自治体

より環境負荷の小さな移動手段への転換や公共交通機関の利用促進のため、住民にインセンティブを付与

連携先募集：  
随時

提案者

ANA X

日常の全ての移動をポイントとして貯め、さまざまな特典に交換できるサービスアプリケーション「ANA Pocket」を提供

企業

移動以外の日常生活行動に伴うCO2排出量の可視化技術、ユニークなエコ製品やサービス提供でアプリと連携

連携先募集：  
随時

インセンティブ

移動や購買におけるCO2排出量の可視化とポイント付与による行動変容の促進

- 内容：CO2排出量の可視化機能とポイント発行機能を搭載したアプリケーションの利用により環境負荷の小さな移動手段、購買活動、飲食への転換を促す
- 日時：2023年4月以降

xx: 前回協議会からの更新箇所

## プロジェクト内容

## 参加企業・団体

### 「場・機会」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

### 「製品・サービス」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

インセンティブ

ポイント付与による消費者の行動変容促進（グリーンライフ・ポイント事業）

- 内容：消費者の方々が気軽に環境配慮行動に取り組めるような仕組みを提供し、また環境に良い取組を行う企業・自治体の情報を発信
- 日時：2023年4月-

「場・機会」の提供者	期待される役割
企業・団体名	期待される役割

提案者	ポータルサイト「au Ponta ポータル」にて、環境にやさしい製品・サービスを提供するauPAY加盟店の取組の紹介と導線提供 また、消費者の環境に配慮した消費行動に対し、ポイントを付与
KDDI	
企業	auPAY加盟店として本取組に参加 例) そごう・西武 <span style="float: right;">連携先募集: 随時</span>
自治体	地域として本取組に参加 <span style="float: right;">連携先募集: 随時</span>

インセンティブ

地域脱炭素・住民の行動変容に向けたポイントの活用

- 内容：地方自治体とのアライアンスを組み、地域ごとに実施
- 日時：2023年4月-

自治体 (脱炭素先行地域)	住民・旅行者等の環境配慮行動を促すため、ポイント付与する施策を実施 <span style="float: right;">連携先募集: 随時</span>
------------------	---

提案者	実証事業の取組主体となる自治体に基盤となるパッケージ（システム/サービスを含む）を提供
KDDI	

xx: 前回協議会からの更新箇所

## プロジェクト内容

## 参加企業・団体

### 「場・機会」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

### 「製品・サービス」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

インセンティブ

お客さまへのインセンティブ（特典）付与により再生可能エネルギー電源の普及促進と地域の環境にやさしい取組・活動を支援

- お客さま（CO2フリー電気、環境活動支援・特典）
- 地域のご支援先（活動等資金のご支援、取組・活動の訴求）
- 当社「三方よし」を目指す

インセンティブ

自治体/企業と連携し、購買データを活用した環境配慮型行動の普及促進

- 地域通貨や各種決済手段等との連携を通じ、買い物の利便性向上/市民参加型のエコへの取組等を促進

提案者

東北電力

再エネ由来の電気の契約によるプレミアム支払いを原資に、東北・新潟地域の環境配慮行動を支援する「ecoでんきプレミアム」の提供

企業/団体  
/NPO/自治体

特典となる商品・サービスをご提供いただける企業・団体だけでなく、以下を満たす活動支援先を募集

- ① 環境にやさしい取組を進める活動
- ② 東北・新潟地域の取組であること
- ③ CO2フリー料金をお支払いいただくお客さまの納得感の得られる活動

提案者

東芝データ

電子レシートサービス・購買データの提供・活用により、買い物における環境行動変容を促す

企業・自治体

実証事業の取組主体として手上げしていただける自治体・企業を募集

連携先募集:  
随時

[xx]: 前回協議会からの更新箇所

## プロジェクト内容

## 参加企業・団体

インセンティブ

日常行動の脱炭素貢献を可視化・履歴を蓄積するログ・スコアを通じ、消費者のモチベーション向上を促進

- 日々の生活の中での脱炭素接点を確認し、脱炭素に向けた意識を継続保持



### 「場・機会」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

提案者
NTTドコモ

環境サービスの利用状況や移動情報などからCO2削減量や環境配慮への貢献度を見える化するサービス「カボニューレコード」を提供  
( <https://caboneurecord.web.docomo.ne.jp/> )

自治体
-----

実証事業の取組主体として手上げしていただける自治体を募集

連携先募集:  
随時

### 「製品・サービス」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

企業
----

カボニューの見える化の対象となる製品/サービスの手上げを募集

連携先募集:  
随時

インセンティブ

従業員が環境行動を登録しCO2排出・削減量を可視化するアプリを用いて、企業として従業員の行動変容を促し、環境社会実現を目指す  
また、企業が社外に発信することで、環境問題に取り組む企業としての認知向上にも寄与する

提案者
NTTコミュニケーションズ

従業員の環境への意識向上・行動変容を促すアプリ「グリーンプログラム for Employee」の提供

企業・自治体
--------

企業として従業員の環境意識を向上/行動変容を促したい企業への参画を呼び掛けるもの

連携先募集:  
随時

xx: 前回協議会からの更新箇所

### プロジェクト内容

### 参加企業・団体

#### 「場・機会」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

#### 「製品・サービス」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

応援拠点

#### 紙コップの水平リサイクル構築に向けた実証事業

- 内容：紙コップを消費者自らが洗浄することを前提とした消費者参加型の紙コップの水平リサイクルモデルの構築にあたり、課題の把握、解決策の検討を実証的に行う
- 日時：2023年度

企業・団体  
・自治体

食堂など紙コップが使用される場に、紙コップの洗浄機と回収箱を設置。また紙コップ洗浄機の定期的なメンテナンスを実施

連携先募集：  
随時

東罐興業  
(東洋製罐  
GHD)

紙コップの一次洗浄（使用直後の簡易な洗浄）機械の供給  
リサイクル原紙から紙コップを生産

企業・団体

一次洗浄された紙コップの回収・保管  
二次洗浄（工場での本格的な洗浄）の実施

連携先募集：  
随時

インセンティブ

#### 従業員の環境配慮行動によるCO2削減量を可視化し、複数企業で成果を出すことで、「従業員の行動変容の重要性」を社会に発信し、機運醸成を目指す

- 内容：環境意識向上・行動変容促進アプリを活用して、自社の従業員の教育/啓蒙を実施したい企業との合同キャンペーン実施
- 日時：7月25日-9月30日

#### 提案者

イーソリューションズ・NTTコミュニケーションズ・NTTコムウェア

企業/団体/  
国・自治体

企業へキャンペーン参加を呼びかけ、環境配慮行動の結果をアグリゲート・発信  
Green Program for Employeeを提供  
(GXソリューション | ドコモビジネス)

13社が参加し環境配慮行動を実践。参加企業：カルビー株式会社/パナソニックホールディングス株式会社/東急不動産ホールディングス株式会社/株式会社セブン&アイホールディングス/清水建設株式会社/YKK AP株式会社/株式会社そごう・西武/アサヒグループホールディングス株式会社/東京海上日動火災保険株式会社/株式会社IHI/ライオン株式会社/富士通株式会社/株式会社八十二銀行  
※順不同

xx: 前回協議会からの更新箇所

## プロジェクト内容

## 参加企業・団体

再エネ

Googleの技術を活用したオンライン太陽光発電シミュレーターを戸建てオーナーへ無料提供することで、既設住宅等への太陽光発電設備普及を促す

- 家庭等に向けて、創エネ、予測売電収入、補助金及び導入設備に係る収支情報や、CO2削減量など統合的に提供し、太陽光発電設備の導入意思決定をサポート
- 自治体に向けて、損益シミュレーション提供を通じ、各自治体に即した脱炭素の取組、市民啓発等に役立てていただく

### 「場・機会」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

自治体	自治体独自の補助施策の情報を掲載し、消費者に制度の活用を促す 連携先募集: 随時
太陽光関連事業者	自社の特徴等を掲載し、消費者に太陽光発電システム導入を促す 連携先募集: 随時

### 「製品・サービス」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

提案者	
東京電力	家屋に係る日射量を機械学習により解析し、太陽光発電導入収支/CO2削減量を自動算出するツール「Suncler」をオンラインで提供

ワーケーション

滞在先地域における地域連携の観点を踏まえた拠点整備によりワーケーションを促す

- ワーケーション利用者数を増やすため、コミュニケーションをテーマに、地域のコミュニティと交流できるワーケーションプランを提案

提案者	
小田急	国立公園“箱根”の玄関口小田原をワーケーション拠点として整備 また箱根全体の未来の環境や観光についての共創拠点を整備
企業・自治体	ワーケーションプログラムを共同開発

■ 連携実践プロジェクト・応援拠点については、合計44件の提案をいただき、そのうち、32件が進行中、12件が完了しています。

参画団体名	取組テーマ	ステータス	概要	参画団体名	取組テーマ	ステータス	概要
Playblue	サステナブルファッション	募集終了	アパレル企業の滞在庫のアップサイクル・染め直し/地域での古着循環の実証	那須塩原市	ワーケーション	完了	ワーケーション体験研修の開催
東北電力	インセンティブ	募集終了	顧客へのインセンティブ付与による再エネ電源の普及促進/地域環境に優しい活動の支援	イオン	応援拠点	完了	ショッピングモールにおける、脱炭素配慮型製品・サービスを体験できる場の提供
東芝データ	インセンティブ	募集中	自治体/企業と連携し、購買データを活用した環境配慮型行動の普及促進	さっぽろ雪まつり	応援拠点	完了	寒冷地における冷暖房機器の効果体験の場の設定
NTTドコモ	インセンティブ	別案件に統合	中立性・公共性を持ったプラットフォームを通じ、脱炭素に向けた活動に取り組むしゅちあゝの声を発信	JR西日本	モビリティ	完了	AIを取り入れたデジタルスタンプラリー機能による公共交通利用の促進
NTTドコモ	インセンティブ	募集中	日常行動の脱炭素貢献を可視化・履歴を蓄積するログスコアを通じた、消費者へのインセンティブ付与	KDDI	インセンティブ	募集中	ポイント付与による消費者の行動変容促進
東京電力	再エネ	募集中	オンライン太陽光発電シミュレーターの無料提供による既設住宅の太陽光発電設備設置の促進	KDDI	インセンティブ	募集中	地域脱炭素・住民の行動変容に向けたポイントの活用
小田急電鉄	ワーケーション	募集終了	滞在先地域における地域連携の観点を踏まえた拠点整備によるワーケーションの促進	NTTコミュニケーションズ	インセンティブ	募集終了	従業員の環境配慮行動と伴うCO2排出削減量の可視化を通じた、従業員の行動変容促進
損保ジャパン	ワーケーション	募集終了	SDGsの普及啓発・実践と、ワーケーションの組み合わせ	イーソリューションズ	インセンティブ	募集終了	従業員の環境配慮行動と伴うCO2排出削減量の可視化を通じた、従業員の行動変容促進
DATAFLUCT	インセンティブ	完了	サッカーチームと連携した移動ログやCO2排出量の把握/サッカー観戦者への環境配慮型移動手段の提供	フォーエバーグリーン	応援拠点	完了	百貨店の場を活用したファミリー向けのSDGs啓発イベント
京都超SDGsコンソーシアム	教育	完了	環境課題をテーマとした学生の議論の場「ユースサミット」の開催	モバイルソリューションティアイシー	応援拠点	募集中	食用廃油回収の効率化に向けた、回収拠点の拡大
札幌市	応援拠点	完了	最先端の技術・取組を紹介する「環境広場ほっかいどう 2023」の開催	そごう・西武	応援拠点	募集中	商業施設における、子供向け環境啓発展示会・ワークショップの開催

# プロジェクトの進捗状況（個別）

■ 連携実践プロジェクト・応援拠点については、合計44件の提案をいただき、そのうち、32件が進行中、12件が完了しています。

参画団体名	取組テーマ	ステータス	概要	参画団体名	取組テーマ	ステータス	概要
ドコモ/楽天/パナソニック	インセンティブ	募集中	PAIの導入検討（取組方針を打ち出す動画の作成）	NPO法人Blue Earth Project	普及・啓発	募集終了	高校生向け環境啓発ワークショップ「Blue Earth 塾」の開催
ANA X	インセンティブ	募集中	移動や購買におけるCO2排出量の可視化とポイント付与による行動変容の促進	楽々	応援拠点	募集中	生産時のCO2排出量が少ない「ラウひらたけ」の認知拡大と生産技術の展開
楽天	インセンティブ	完了	楽天ラクマ上でのインセンティブ付与によるクロスアクション促進についての実証	ワンピース	普及・啓発	募集中	「0円服の交換会」の開催
the Organic	意識啓発	募集中	「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクト&アンバサダーチームによる環境配慮商品の開発・普及の支援	NBS長野放送	普及・啓発	完了	熱中症対策を促すCMの作成・放映
アジア航測	インセンティブ	募集中	「CO2CO2」の提供による国民・消費者行動の見える化・ポイント付与の実証	読売新聞	応援拠点	完了	「読売カーボンニュートラル・デイ Vol.3」でのパネルディスカッション
大阪府	インセンティブ	募集中	脱炭素ポイント付与による府民の脱炭素行動後押し	大地を守る会	応援拠点	完了	「100万人のキャンドルナイト@増上寺」2023に連動した施設の消灯協力
大阪府	インセンティブ	募集中	脱炭素ポイント付与による自治体明の脱炭素行動後押しの取組の他事業者への横展開	フォーエヴァーグリーン	応援拠点	募集中	百貨店の催事場を活用した脱炭素製品の紹介やゼロカーボンシティ宣言都市の応援
NPO法人気象キャスターネットワーク	応援拠点	募集中	環境・防災の啓発活動/製品PR	SBパワー	インセンティブ	募集中	インセンティブ付与により消費者の節電を促すアプリ・機能の普及・強化
東洋製罐	応援拠点	募集中	紙コップの水平リサイクル構築に向けた実証	松山市	応援拠点	募集中	松山市環境フェアの実施
健康省エネ住宅を推進する国民会議	普及啓発	募集中	「命を守る一部屋（健康省エネルーム）推進事業」の実施	日揮ホールディングス	応援拠点	募集中	廃食用油の活用プロジェクトと「Fry to Fly Project」の実施
静岡鉄道	応援拠点	募集終了	COOL CHOICE 2023 in しずおかでのブース出展/周遊企画との連携	Switch	国際・教育・人材育成	募集中	脱炭素のオンライン教材「チャレンジ1.5℃」の展開

## お問い合わせ先/ご連絡先



デコ活応援団事務局  
ボストン・コンサルティング・グループ (BCG)

E-mail: [Decarbonized@bcg.com](mailto:Decarbonized@bcg.com)

TEL: 03-6387-7198 (直通) ※9:30~17:30 土日祝除く



環境省 地球環境局 デコ活応援隊 (脱炭素ライフスタイル推進室)

[隊長 (室長)] 井上 雄祐 (いのうえ ゆうすけ)

[担当] 井上 (昇)、酒井、中村、金井、深澤、岩本、渡部

住所: 〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2

Email: [decokatsu@env.go.jp](mailto:decokatsu@env.go.jp)

TEL: 03-5521-8341 (直通)

---

## 参考資料

---

# 「デコ活」(脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動)とは

- 脱炭素につながる**新しい豊かな暮らし**の実現に向けた国民の行動変容、ライフスタイル転換のうねり・ムーブメントを起こすべく、新しい国民運動を開始し、世界に発信します。

脱炭素の実現に向け、暮らし、ライフスタイルの分野でも大幅なCO2削減が求められます。



しかし、国民・消費者の行動に具体的に結びついているとは、まだ言えない状況です。



1 例えば10年後など、脱炭素につながる**将来の豊かな暮らしの全体像、絵姿**をお示しします。



2 国、自治体、企業、団体等で共に、**国民・消費者の新しい暮らしを後押し**します。



国際的にも (G7・G20等において)、

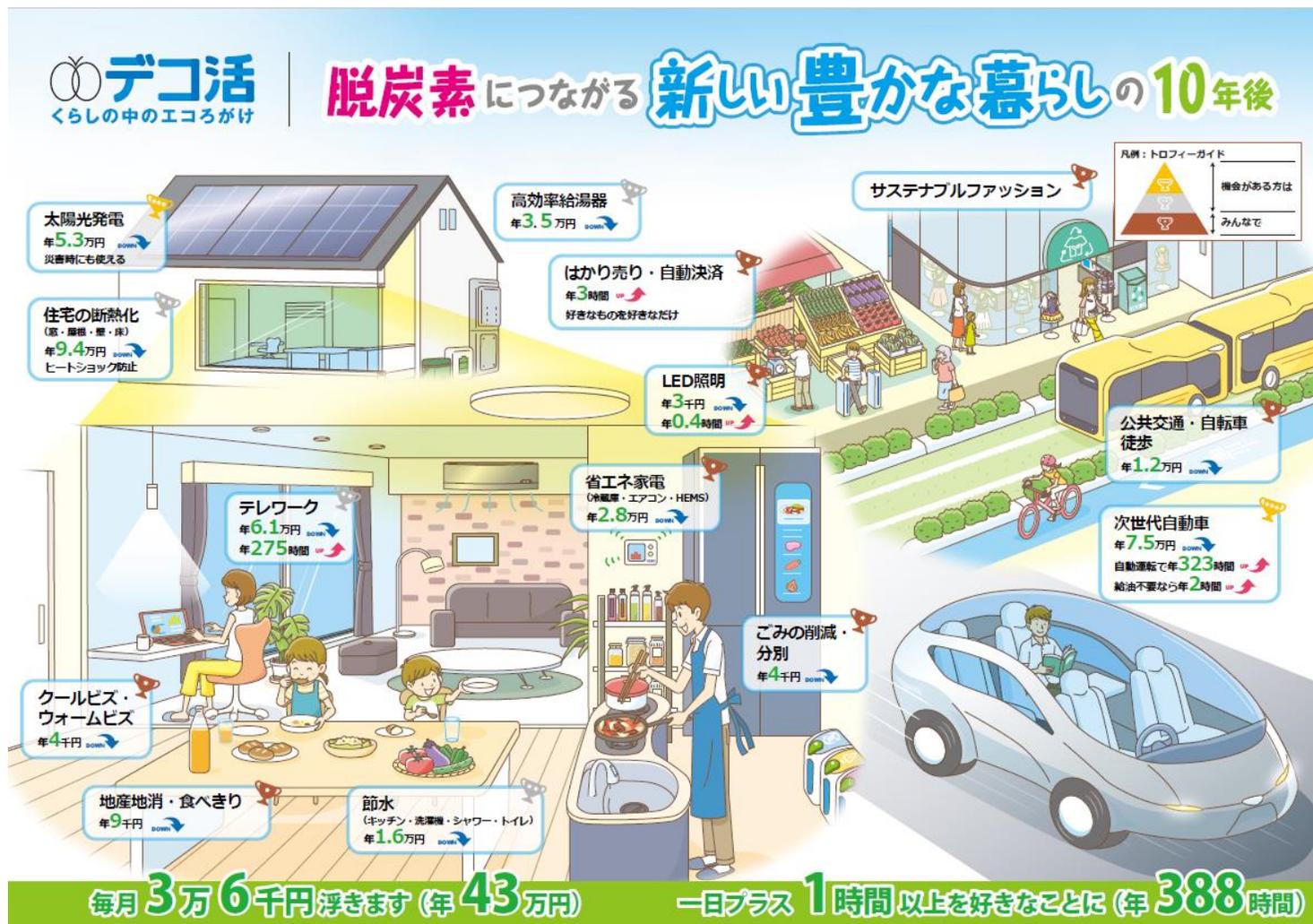
- ・ 我が国から**製品・サービスをパッケージにした新しいライフスタイルの提案・発信**
- ・ **官民連携によるライフスタイル・イノベーションの国際協調を提案・発信**



**国内での新たな消費・行動の喚起とグローバルな市場創出・マーケットインを促します。**

# デコ活の全体像（脱炭素につながる将来の豊かな暮らしの絵姿）

○ 今から約10年後、**生活がより豊かに、より自分らしく快適・健康**で、そして2030年温室効果ガス削減目標も同時に達成する、新しい暮らしを提案をします。



※新しい暮らしの根拠や数値のバックデータは、<https://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/>から確認を。

○国、自治体、企業、団体、消費者等の主体が、国民・消費者の新しい暮らしを後押しします。

デジタルも駆使して、多様で  
快適な **働き方、暮らし方**  
を後押し（テレワーク、地方移住、  
ワーケーションなど）



1

脱炭素につながる新たな暮らし  
を支える **製品・サービス**を  
提供・提案



2

**インセンティブ** や効果的な  
情報発信（気づき、ナッジ）を  
通じた行動変容の後押し  
（消費者からの発信も含め）



3

**地域** 独自の（気候、文化等  
に応じた）暮らし方の提案、  
支援



4



脱炭素につながる新たな豊かな  
暮らしの全体像を**知り、触れ、  
体験・体感**してもらう様々な  
**機会・場（応援拠点）**を  
**アナログ・デジタル**問わず提供

今年度以降、地域・全国へ

# デコ活応援団の位置付け、機能

- デコ活の中での協議会の位置付け  
= 国×自治体×企業×団体×消費者の連携・実践の場 & 最新情報・意見の共有・交換の機会
- プロジェクト提案・実施、施策への意見・要望、参画主体間のつなぎ・照会等を事務局がサポート  
➔ 皆様が“やりたいこと”を実現する場として、デコ活応援団をフルスイングでご活用ください！

## デコ活応援団

- 実証事業、普及啓発、実践事業・キャンペーン等の実施に対する関連予算の活用(シードマネー・呼び水的資金サポート等)
- 参画団体の皆様のご提案を踏まえた連携・マッチング
- G7/G20等におけるグローバルな発信・PRの機会の確保など

890主体  
(276自治体、392企業、  
186団体、36個人)  
令和5年10月18日時点

## 10年後の絵姿



## 個々の取組、製品・サービス等の発信・PRなど

<p>デジタルも駆使して、多様で快適な働き方、暮らし方を後押し。(テレワーク、地方移住、ワーケーションなど)</p>	<p>脱炭素につながる新たな暮らしを支える製品・サービスを提供・提案</p>
<p>インセンティブ や効果的な情報発信 (気づき、ナッジ) を通じた行動変容の後押し (消費者からの発信も含め)</p>	<p>地域 独自の (気候、文化等に) 暮らし方の提案、支援</p>

ポータル登録数:324件  
(デジタル関係:29件、製品・サービス:158件、インセンティブ:108件、地域:29件 ※重複有)  
令和5年10月18日時点

脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る 国民運動

2050年カーボンニュートラル及び2035年実質ゼロ目標の実現に向けて、国民・消費者の行動変容、ライフスタイル変革を後押しするなか、新しい国民運動を推進します！  
脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの姿(製品・サービス)を紹介することにも、国・自治体・企業・団体等と共に、国民・消費者の新しい暮らしを後押しします。

提案・取組を登録しよう  
脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る提案・取組を登録し、国民・消費者の新しい暮らしを後押ししましょう

登録はこちらから(Google フォームが開きます)

○ 官民連携実践プロジェクトの組成から実施、実施後フォローまで、事務局等がサポートします。

➔ **マッチング、案件形成、シードマネー、発信PR、効果測定**など  
必要な範囲で支援が可能ですので、事務局までお気軽にご相談ください！

- このうち、シードマネーについては、
  - ① 事業ポートフォリオの一部に呼び水的に資金投入することで、
  - ② その後の自走、社会実装・拡大普及が見込まれ、
  - ③ 脱炭素に向けて費用対効果が高いものに対して**資金サポート**を行うものです。こちらも事務局までご相談ください！

# スモールグループの立ち上げ及びテーマ設定

- 個別テーマに係るスモールグループの運用を開始し、積極的な議論を行う場を設定しています。
- スモールグループへの参加の希望や新規テーマ設定についても常時、受け付けています。

テーマ	人数	議論中の論点・これまでのご意見
①住宅	126	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者にとってストック（既存住宅）の省エネ化の優先度を向上させる取組方法の策定</li> <li>断熱における課題の特定と、消費者の関心を高める効果的な訴求方法の検討</li> </ul>
②インセンティブ/ポイント	138	<ul style="list-style-type: none"> <li>インセンティブを用いた脱炭素の啓発方法検討</li> </ul>
③モビリティ	97	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザーがエコドライブ等の取組を自発的、もしくは能動的に実施可能な仕組みの形成方法検討</li> </ul>
④食	94	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業間連携により、自律分散型の地産地消を実現できる具体手段の検討</li> <li>食の生産、物流の中で、最も脱炭素へのインパクトが大きい分野の特定</li> </ul>
⑤宅配/通販	67	<ul style="list-style-type: none"> <li>エコドライブの訴求方法検討</li> <li>利用者の利便性と環境への配慮の判断軸の策定</li> </ul>
⑥サステナブルファッション	73	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者の衣服リサイクルへの意識を向上させる訴求手段・方法の検討</li> </ul>
⑦教育	106	<ul style="list-style-type: none"> <li>従業員へ向けた学習環境の整備方法の検討</li> <li>子供が自分ごととして行動できる教育方法の策定</li> </ul>
⑧GHG見える化	149	<ul style="list-style-type: none"> <li>見える化から、行動変容に繋がる仕組みの策定</li> </ul>

テーマ	人数	議論中の論点・これまでのご意見
⑨プラスチック	93	<ul style="list-style-type: none"> <li>リサイクルの原料収集、原料の選別等の、リサイクルの各工程における課題の特定</li> <li>上記を解決する技術・運用方法の共有・策定</li> <li>マイボトル等の、消費者を巻き込んだプラスチック削減方法の策定と、課題の特定</li> </ul>
⑩意識啓発	141	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネに対するネガティブイメージを払拭するための対応方針策定</li> <li>知識の蓄積のみならず、環境問題を自分ごととして捉え、行動を促すための啓発方法の策定</li> <li>脱炭素を啓発する適切なターゲットの選定</li> </ul>
⑪ワーケーション	55	<ul style="list-style-type: none"> <li>再エネ活用に向けた実証実験とワーケーションを融合した取組事例の共有</li> <li>地域住民との効果的な連携方法の策定</li> </ul>
⑫生物多様性	87	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物多様性の数値化、計算方法の検討</li> <li>企業の生物多様性保全に向けた行動指針策定</li> </ul>
⑩廃棄物	96	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物のリサイクルにおける課題・原因の特定 ⇒全国規模の一斉回収が難しい ⇒コストが高い（特に複合素材のリサイクル） ⇒運輸時にCO2が排出される</li> </ul>
⑭若者	55	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者の環境配慮型商品への購買意欲を向上させる取組方法の検討 ⇒企業間イベント、インセンティブ付与の検討</li> </ul>

# 2023年以降のタイムライン

